

令和 7 年度第 4 回松平地域会議 会議録

日 時 令和 7 年 9 月 1 0 日（水）午後 7 時から午後 8 時 4 5 分
場 所 松平交流館 大会議室
出席者 地域会議委員 1 2 名、事務局 3 名

【内 容】

1 会長あいさつ

2 報告

（１）前回の議事録について

資料に基づいて、第 3 回地域会議の内容について、事務局が説明した。

（２）松平地域まちづくり構想の中間報告

資料に基づいて、第二次松平地域まちづくり構想について、事務局から進捗確認のための中間報告があった。

3 協議

（１）令和 8 年度地域課題解決事業 事業計画書の確認

資料に基づいて、令和 8 年度の地域課題解決事業について事業内容の確認を行った。10 月の地域会議において最終確認を行う。

（２）提言に向けた協議について

これまでの協議をうけて修正した提言書と意見交換時の際に利用する資料について協議した。

【正副会長と事務局との打合せの報告】

- ・提言書の内容は具体的にしすぎず簡潔にまとめて、市長との意見交換の際に、具体的な取組等を話すことで、明確に思いを伝える。
- ・意見交換のため、委員用の手持ち資料（具体的な課題や要望をまとめたもの）を準備する。

協議内容は以下のとおり。

【提言書について】

- ・子育てに関する提言に関しては、鳥獣害と比較すると、市に伝えたいことが明確でないため分かりにくいことが気になった。
- ・目安となる数字、目標の数字のようなものを設定すると考えやすいと思う。
- ・数値化について、松平として何パーセントが望ましいのかを考える必要があるかと思う。
- ・当事者にしかわからないことがあると思うので、当事者に意見を聞いて参考にするべき。
- ・鳥獣害に関しては、ヒアリングの際に伺った推移などのデータを使ってもいいのでは。
- ・意図的とはいえ、提言書の中身はぼんやりしすぎてしまうと、思っていたことが伝わらない。分かりやすい直接的な言葉を入れた方がいいのでは。

【意見交換時の手持ち資料について】

- ・手持ち資料自体は、市長との意見交換で、情報として持ち合わせるための資料。例えば支所でやれるような提案でもよい。
- ・地域と行政の共働という視点は必要。地域がこんなことをやっているが対応しきれないので、市へ提言するという形が良いのではないかと。少子高齢化が進む中で、これまで通り地域のことは地域でという姿勢では限界がある。

- ・長くてもいいので、たくさん書いてほしい。
- ・課題の内容によっても自治区によっても、危機感に温度差があると思う。
- ・危機感や切迫感を伝えられる言葉があってもいいと思う。なんとかしなければと思ってもらえるような表現や具体例があるといい。
- ・行政に実際に経験してもらえると、大変さや切実さが伝わるのではないかな。
- ・鳥獣害対策で柵や網等を申請するにも細かくて厳しい制度だと感じる。
- ・これまでの地域会議で話してきた、たくさんあった課題などを全部載せればいいと思う。
- ・何度も会議をしてきたので、意見交換で実施可否をできるだけ明確に答えてほしい。
- ・当日市長としっかり話そうことができるように、バックデータを準備しておくべき。
- ・子育て中の方の意見は聞いたほうがいいと思う。何が松平の子育て世代の悩みなのか委員がきちんと知ったうえで、市長と意見交換がしたい。
- ・閉園するこども園などで、放課後に小中学生などが移動して過ごせる制度があるといい。

4 連絡事項

- ・わくわく事業二次募集の結果について
- ・第11期地域会議委員改選について

次回会議について

- ・日 時：令和7年10月8日（水） 午後7時から
- ・場 所：松平交流館 大会議室
- ・議 題：令和8年度地域課題解決事業の最終確認、提言に向けた協議 など